

第十二回 衆議院戸籍法案審查特別委員會速記錄

(第一號)

明治三十一年五月二十五日午前九時四十四分開議

○委員長(大田信一君) ツレデハ是ヨリ戸籍法案審查委員會ヲ始メマスデゴザイマス、皆サンニ御協議ヲ致シタイト思ヒマスノハ、是マデノ例ニ依リマス、此ノ如キ數百箇條モアル大層ナ議案ニ就キマシテハ、先ヅ大體ヲズツト當初ヨリ終尾マデノ各條ニ就イテ、御審又ハ質問ノ際ハツレツレ順ヲ逐ウテ終尾マデヲ政府委員ニ向テ御尋ネ致シマシテ、ツレガ終ツテ始メテ各條ヲ分テ議事ニ附スルト、斯ウ云フ順序ニナツテ居ルヤウニ心得テ居リマス、此邊ハ如何致シマセウ、若シ御異論ガアリマセヌケレバ、其通りニ致シマス、一應此段ヲ御諮リヲ致シマス

○(藤岡常彦君) 今御報道ノ通りガ順序ヲ得タコト、考ヘマスカラ、其通りニシテ、貫ヒタイト思ヒマス、本會ノ方デハ政府委員ガ一ト通り戸籍法ノ上ニ就イテ大體ノ御辯明ガアツタヤウデアリマスガ、尙此席ニ於テ戸籍法ノ大體ニ就イテ、今一應詳細ニ拜聽致シタウゴザリマス、ツレト此戸籍法ハ是迄ガ内務省ノ所管ト考ヘテ居リマスガ、此節司法省ノ所管ノコト、ナツテ、同省ニ移リマシタガ、此内務省ノ手ヲ離レテ司法省ノ手ニ移リマシタ、ソコノ事務取扱上ニ就イテノ關係等ノコトモ、詳シク此處デ述ベテ貫ヒタイト思ヒマス、此段請求致シマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今ノ御話ニ依リマシテ、大略ヲ申述べマスガ、戸籍法案ハ申スマデモナク、民法ガ此節修正ニナリマシテ、其結果トシテ必要ノ生ジタノデアリマス、又一方ニハ國籍法ト云フモノガ制定セラレタノモ、是モ必要ガ生ジテ來タカラデアリマス、然ルニ此目錄ヲ御覽下サレバ御分リニナルコト、考ヘマスガ、出生カラ婚姻死亡ノ事マデ此法案ニ定メテアリマスカラシテ、總テノ人ガ此戸籍法ノ適用ヲ受ケナケレバナラヌノデアリマス、加之ナラズ其適用ヲ受ケル者モ、随分頻繁デアアル、ツレデアリマスカラシテ、從來ノ取扱手續ヲ此法案デ議定變更スルト云フコトハ、非常ニ混雜不便ヲ惹起スデアラウト云フコトヲ第一ニ懸念ヲ致シマシタ所ガ、幸ニシテ先ヅ大體ニ就キマシタ、殆ド此各人カラ居出ヲ致シマス手續ヲ戸籍法ニ依ツテ致シマス、是ガ登記ヲ致シマス其手續ハ、全ク現行ノ取扱手續ヲ變更シナイデ足リルト云フコトヲ信ジマスノデ、尤モ居出ノ事項等ニ就キマシテハ、民法ノ結果トシテ幾分力從前ヨリ殖ヘルガ、取扱ニ就イテハ全ク現行ノ取扱手續ト異ラナイト云ツテ差支ナイ位デアリマス、主義ニ於テハ大分著シク變更ヲ生ジテ居リマス、ツレハ從前ノ手續ノ大略ヲ御話ヲセヌケレバ不明瞭デアリマセウカラ、一應申上ゲマス、是迄ハ各人カラ居出ヲ致シマス、サウスルト市町村長タル人ガ、之ヲ受ケテ登記目錄ト云フ帳簿ヲ役場ニ備ヘテ居リマス、ツレニ居出ノ要領ヲ記載シ、其目錄ヲ根據トシテ、ツレカラシテ登記ヲ經ル、

斯ウ云フ手續ニナリマス、登記同様ト云フモノハ、戸籍法ノ上ヨリ必要ヲ生ジテ來テ居リマスモノデ、戸籍ノ準備手續ト云フヤウナモノニナツテ居リマス、此節モ矢張右ニ様ノ帳簿ヲ備ヘルト云フコトニ就イテハ、同ジコトデアリマス、此法案デ申シマスル所ノ身分登記簿、今日申シマスル所ノ戸籍ハ、矢張戸籍トシテ備ヘテアル、何故之ヲ今日ノ登記目錄ト云フモノヲ身分登記簿ト致シタカト云フト、今日ノ登記目錄ハ、僅ニ戸籍ニ記載スル手續トシテ備ヘテアリマスガ、戸籍ト云フモノハ、戸主ト云フモノヲ元トシテ、編成致シマスカラシテ、爰ニ家督相續ガアレバ、從テ戸籍全部ヲ書替ヘル、從テ戸籍簿ヲ嚴格ニシテ動かサヌト云フコトニナリ兼ネマス、幾度モ拔キ差シマスル必要ガアル、サウ云フ性質ノ帳簿デアリマスカラシテ、極ク精確ナ信用ヲ保ツト云フ點ニ於テハ、或ハ幾分ノ懸念モアル譯デアリマスデゴザイマスカラ、此節ハ身分ニ關スル所ノ權利確定ト云フモノハ、戸籍ニ重キヲ措クヨリモ、身分登記簿ニ重キヲ措イテ、之ヲ以テ十分ナル證據トスルト云フコトデ、先ヅ身分登記簿ニ十分ナル法式ヲ備ヘ、此法案中ニ規定シテアリマス通りニ、毎葉ニ割印シテ拔キ差シノ決シテ出來ナイヤウニ、嚴格ナ法式ヲ備ヘテ置キマシタ、ツレカラ身分登記簿ヲ登記シタ所デ、其以上ハ登記簿ニ基イテ戸籍簿ニ記載スルト云フ手續ヲ採リマシタ、ツレデ居出人ノ方カラ二重ノ居出ヲサセル必要モアリマセヌカラ、一應ノ居出ヲスルト、戸籍吏ハ登記ヲスル、又ツレニ依ツテ戸籍ニ記載スルト云フ手續デ、手續ノ事ハ別段變リマセヌ、身分登記簿ニ重キヲ措ク事ハ、此法案ノ主義ニ於テノ變更ト申シテ宜カラウト思ヒマス、ツレカラ先刻御質問ガゴザリマシタ從前内務省ノ主管デアアル、ツレヲ此節司法ノ主管ニ改メタコトハ、ドウデアアルカト云フコトガゴザリマス、是ハ如何ニモ今日マデ内務省ノ主管ニ屬シテ、市町村長ノ上ニ郡長アリ、郡長ノ上ニ府縣知事ガ監督シテ居リマシタ、此事ハ戸籍記載ノ手續ニ止マリマシテ、人ノ身分ノ關係ニナリマス、常ニ司法ノ問題ニナリマスカラ、是ハ確カ明治十九年頃カラシテ、其點ニ就イテハ、司法省ガ擔當ヲシテ居リマス、今日ノ實際ヲ申上ゲルト、戸籍ノ記載手續ニ就イテハ、地方廳或ハ内務省ノ管轄デアアルガ、其身分ハ司法省ノ主管デアアル、一ツノ事ヲ尋ネルニ、兩省ニ跨ツテ尋ネ、兩省ハ互ニ交渉シテ決定致スト云フ不便ヲ感ジテ居リマス、ツレモ今日マデハ、或ハ通例ニ違ツテ居ル結婚ト云フ事ハ、從前ノ制規ニ依リマシテ、地方長官ガ許可ヲスルト云フダケノ職權ヲ以テ居ルカラ、マダシモ今日内務省ノ方ニ屬シテ居ル理由モアリマスカレドモ、今後民法其他ノ法律ガ實施セラレマストキニナリマス、從前地方官ノヤツテ居ッタ事ハ、裁判所ノ管轄ニナリマス、隱居ヲスルニ就イテハ、裁判所ノ許可ヲ受ケネバナラヌト云フ事ハ、他ノ法案ヲ御覽ニナルト澤山アリマス、ツレデ又一方ヲ考ヘテ見マス

ト現ニ不動産ノ登記ト云フモノガアル、此不動産ノ登記モ財産ノ登記——戸籍ハ人ノ身分上ノ登記デアル、一ハ裁判所ノ管轄、一ハ財産上ヨリ重イ身分ノ登記ガ、郡長ノ管轄ニナツテ居ル、是ハ權衡ヲ得ナイト云フヤウナ種々ナ理由カラシテ、之ヲ裁判所ノ管轄ニ委シ、ソレカラ以上ハ司法行政官司法大臣ガ管轄スル事ニ改メタノデアリマス、ソレカラ引繼ギノ手續ハ、實際ニ事ヲ執リマス所ニハ、何モ今日ト異ル所ハナイ、監督スル人ガ變ルマデノ事デアルカラシテ、別段混雜ハ惹起サナイ積リデアリマス、尙一言申シテ置キマスノハ、如何ニモ之ヲ法案トシテ編成シテ見マスル所デ、數百條ニ涉リ、余程混雜ナ手續ノヤウニ一見シテ見エマスガ、今日マデノ所ノ手續ハ、詳細ニ書留メタモノガナイト云フニ過ギナイ、今日ノ手續ヲ書留メレバ、斯様ナ浩瀚ナモノニナリマスカラ、別段今日ノ手續ト變ル所ハナイ、殊ニ最終ノ所ニ附則ヲ以チマシテ此法案ヲ施行スルニ就イテ一時ニ急激ノ變更ヲ避クルタメニ、便宜ノ手續ヲ講ジテ居リマス、先ヅ大略法案ヲ編成シマシタ大要ハ、右ノ次第デアリマス

○(片岡勇三郎君) 私モチヨット政府委員ニ御尋ネシタイト思ヒマス、是迄戸籍ヲ扱ッテ居リマスノハ、矢張區長デアリマスとか、市長町村長デアルトカ云フモノガ、過失ニ依ッテ賠償ノ責任シタト云フ事ハゴザリマシタラウカ、若シ又アリマシタトシタナラバ、ドノ位賠償ヲ負擔シタ場合ガアリマシタラウカ、夫等ノ所ガ伺ッテ見タイ、ソレカラ登記ノタメニ市町村ノ收入トナルベキモノガ、附則ノ中ニゴザリマスヤウデスガ、是ハ凡テ此身分ニ關シテ登記ヲ致シマスル場合ニハ取リマスルモノデアリマスガ、其收入ノ高ハ、凡ソ一町村役場ノ全國平均ハ、ドノ位ニナルト云フコトハ、積算シタモノガゴザイマセウカ、夫等ヲ伺ヒマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 第一ノ御尋ハ、從來市町村長ガ職務上ノ過失デ、賠償ニ任ジタコトガアルヤ否ヤ、是ハ實例トシテ取調ヲ致シタコトハアリマセヌ、併シ此法案中ニ故意又ハ重大ナ過失ニ依ッテ、損害ヲ生ゼシメタル時ニハ、其損害賠償ノ責任シタト云フ箇條ガ設ケテアリマスガ、若シソレニ就テノ御不審デゴザイマスレバ、少々申述ベタイコトモアリマスガ、只今ノ大體ノ御尋ネハ實例ノ有無デゴザイマスレバ、ドウモ實例ハ取調ベタコトハゴザイマセヌ、又ソレカラ、第二ノ御尋ネノ手数料ノ事デゴザイマス、是ハ先年登録稅法ガ出來マシタ折ニ、身分ニ關シマス届出デニ就イテ、登録稅ヲ徵收セラレタコトガゴザイマスガ、ソレハ間モナク登録稅ハ廢止サレタ、今日此法案ヲ編成シマスルニ付イテモ、又ソレヲ繰返シテ、再び手数料ヲ取ルト云フコトハナイノデアリマス、如何ニモ附則ノ所ニ市町村ノ收入トスト云フ箇條ガゴザイマスガ、是ハ其ノ前ノ項ニ斯フ云フ規定ヲ置イテゴザイマス、或ハ其身分登記簿ノ謄本ヲ求メルトカ、或ハ身分登記ノ閱覽ヲシタイトカ、若クハ其戸籍ノ閱覽、戸籍ノ抄本ヲ求メルトキニ、幾分ノ手数料ヲ取ラウト云フ規定ヲ置キマシテ、ソレダケノ收入ニナリマス、手数料ノ額ハ命令ヲ以テ之ヲ

定メルコトノ規定ニナツテ居リマスガ、マダ其額ハ確カニ定メテ居リマセヌ、又内議モ熟シテ居リマセヌガ、兎ニ角其事柄ガ帳簿ノ閱覽ヲ求ムルトカ、或ハ謄本ヲ求メルト云フ事柄デゴザイマスカラ、決シテ多額ノ手数料ヲ取ルト云フ事柄デハナイノデアリマス、全体ノ届出ニ付テ手数料ヲ取ルト云フ積リデアリマセヌ

○(小磯進君) 私モチヨット御尋ネヲシテ置キタイ、私モ大體ノコトニ付テ、チヨット御伺ヒヲシタイト思ヒマスガ、此附則ノ中ニ施行期限ハ勅令ヲ以テ定ムルト云フコトニナツテ居マスガ、是ハ實際ノ施行期限ノ御見込ハ、何時頃ノ御考ヘデアリマスガ、矢張察スルニ新法典ノ實施ト新條約ヲ改正スルニ差支ナイ程度ヲ以テ定メラレルコトデアラウト思ヒマスガ、果シテサウデアラカ、果シテサウデアラトスレバ、成程今御説明ヲ伺ヘバ格別、今日マデト違ッタコトハナイノデ、サウ手数料モ多ク要ラウト云フコトデナイヤウニ御説明ガアリマスケレドモ、一々身分ノ登記手續キナリ身分ノ種類ナドハ、帳簿ニ於テ皆口別ケヲシテ置カナケレバナラヌコトニナツテ居ルヤウデゴザイマスガ、其制限ハ果シテ新條約ノ改正實施期限マデニ此法案ヲ施行スルトスレバ、餘程忙ハシイ仕事ノヤウニ思ヒマスガ、果シテソレ等ハ十分ナシ得ラレル御考ヘデアアルヤ否ヤ、伺ッテ置キタイ、ソレカラモウ一ツ先刻ドナタカノ質問ガアリマシタ、デ略ホ分リマシタガ、此戸籍ニハ町村長ヲ以テ戸籍吏トスルト云フノデゴザイマスガ、町村長ノ監督町村長ノ職務上總テノ監督ハ、矢張内務大臣府縣知事郡長ト云フ系統ヲ以テ監督ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、戸籍吏ト云フ職務即チ戸籍ノ事務ニ就テハ、總テ内務ニ屬スル監督ハ、全ク離レテ、少シモ平生ノ事ハ構ハヌデモ宜イト云フ御考ヘデアリマスガ、又全ク是マデノ通り財産ナリ身分ナリノ爭議ノ起タ時ハ、是マデ司法處分ニ屬シテ居ッタノデアアルケレドモ、平生ノ事務ノ取扱ノコトニ就テハ、内務ノ所管デ矢張監督スルト云フコトニナルノデアリマスガ

○政府委員(倉富勇三郎君) 此施行期限ノ事ハ、勅令ヲ以テ定メルト云フコトニナツテ居リマスガ、全ク御考ヘノ通り、民法ノ施行ト同時ニ是モ施行セラレル考ヘデアリマスト申シマスルノハ、ドウモ此戸籍法ト云フモノガゴザイマセヌト云フト、民法ノ施行カ出來兼ネル、一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、婚姻ハ戸籍吏ニ届出ヅルニ依ッテ効力ヲ生スル、或ハ隱居ヲ致シテモ、戸籍吏ヘ届出ヅルニ依ッテ効力ヲ生ズル規定ガ民法中ニゴザイマス、サウ云フ規定ヲ實施スルタメニハ、是非トモ戸籍ノ實施ガナケレバ、民法ダケデ十分ナ施行ガ出來兼ネマス、其民法ノ施行ト同時ニ施行サレルト云フ考ヘデアリマス、ソレデ實際ノ準備ガ間ニ合ウカ否ヤト云フコトハ、先刻モ申上ゲマシタ通り、殆ンド戸籍ガ此法案ノ通りニナリマシテモ格別違ヒナシ、殊ニ附則ヲ以今日用ヒテ居リマス所ノ身分等ノ目錄ト云フモノヲソツクリ、之ヲ身分登記簿ト代用スル規定ニナツテ居リマスカラシテ、別段差支ハナイト云フ考ヘデアアル、如何ニモ澤山此種類別ケヲシマスカラシテ、餘程面倒ナヤウニ考ヘ

ラレマス、ケレドモ、今日ノ實際ニ於キマシテモ、此分類ト云フモノハ、マ
ダ此法案デ分類致シマシタヨリモ、モウ少シ澤山ナ分類ニナッテ居リマス、
ソレデ其邊ノ不都合ハナイト云フ考ヘデアリマス、ソレカラ監督ノコト、是
ハ御考ヘノ通り、市町村長ト云フ如キ身分上ノ監督ハ、唯今ノ通り内務ノ所
管ニ屬シマスコトデアリマス、唯戸籍ニ關シマス事務上ノ監督ヲ、此法案デ
裁判所ノ方ニ移シマス、是ハ他ニモ例ガアリマスコトデ、市町村長ト云フ人
人ハ、市町村制ニ依リマシテ、地方警察ノ事務ヲ持ッテ居リマセヌ、其司法
事務警察事務ノ方ノ監督ハ、今日デモ司法部デ監督ヲ致シテ居リマス、事務
ニ就イテノ監督ヲ司法部ニ移スニ過ギナイデアリマス

○(加藤六藏君) 此案ヲ通過シマシテ、實際ニ行フト云フ時ニ致シマシテ、
裁判所ノ方ノ仕事ガ殖ヘル譯デゴザイマス、ト致シマスルト、入費ハ幾ラナノ
デゴザイマス、ドノ位ノ御見込デアリマス、尙ホ一言續イテ申マスルガ、
郡役所ト云フモノハ地方稅デスル、其郡役所ノ仕事ヲ裁判所デスルヤウナ譯
ニナル

○政府委員(倉富三郎君) 監督ノ事務ヲ裁判所ニ移シマス、裁判所
ノ方ノ經費ガドノ位増スカト云フ御尋ネデゴザイマス、差向キ著シク増シ
マスノハ、此法案ノ規定ニ依リマシテ、先刻申シマシタ通り、身分登記簿ト
云フモノヲ各戸籍役場デ、ソレヲ調製致シマシテ、ソレヲ區裁判所ノ監督ノ
判事擔任判事ノ檢印ヲ請フ規定ニナッテ居ル、ソレデ一應戸籍役場カラ帳簿
ヲ裁判所ニ送リマシテ、裁判所カラソレヲ送り返ヘス、送り返ヘス所ノ運搬
ノ費用ガ多少要リマスニハ相違ゴザイマセヌ、其外ニハ監督上必要ト認メル
時ニ、此區裁判所ノ判事ガ戸籍役場ニ巡廻デモ致シマス、必要デアル、先
ヅソレ等ノ費用デゴザイマス、ソレハ何レ此法案ガ通過シマスレバ、是ハ
豫算上ノ關係ガアリマス、請求スルヤウナ手續ニナルト思ヒマス、是ハ
二角監督ヲ移スタメニ生ジマスル費用ハ極僅カナモノデアルト存ジマス

○(加藤六藏君) 唯今ノ御述ベノ如クデハ、格別ノコトモナイヤウニ思ヒマ
スガ、現今郡役所等ヲ見マスニ、随分戸籍ノ事務ト云フモノハ、皆村長ガ充
分ニ解釋ヲ得テ間違ハズシテ、事務ヲ進行シテ行ケバ、格別ノコトモナイガ、
随分異議ガアルトカ、手續上ニ就イテ照會スルトカ、随分郡役所ノ戸籍掛リ
ハ多忙デアルヤウニ本員ハ認メテ居ル、シテ見レバソレダケノ事ト云フモノ
ハ、區裁判所ニ於テ同シ量ハアルニ違ヒナイ、尙ホ他ノ民法トカ其他ノモノ
トノ關係ヲ以テ見マスレバ、照會質問ト云フコトガ殖ヘルダラウト考フル、
サウシテ見ルト云フト、唯今ノ御答ダケデナイ、随分用事ハアルダラウト考
フル、シテ見レバ、從ッテ費用モ掛ルヤウニ、本員ハ想像サレルガ、如何デ
スカ

○政府委員(倉富三郎君) 如何ニモ今日マデノ處デハ随分郡長ハ兎ニ角申
立デマス疑問等モ多イヤウデゴザイマス、ソレハ前ニ申述ベマス通り、今日
デハ身分上ノ事ニ關シマシタ願トカ、或ハ届ト云フモノヲ、總テ地方官ガ持ッ

テ居ル、其結果トシテ出ルノガ多イト思ヒマス、全ク取扱上ノ疑義ニ涉ルコ
トハ、左程澤山ナイト思ヒマスケレドモ、今日ノ處デハ、總テ地方官カ許否
スル職權カゴザイマス、ソレニ關聯シタ手續ガ多イト思ヒマス、成程其
場合ニ依テ、斯ウ云フ場合ニハドウ云フ記載スレバ宜イカト云フ疑ガ生ジ
ナイトハ限リマセヌガ、ソレニ答ヘルト云フ爲メニ、別ニ區裁判所ノ手續ガ
困難ヲスルタメニ、經費モ増サナケレバナラヌト云フコトハ、今日ノ處デ想
像ハシテ居リマセヌ

○(小磯進君) 私モ少シ質問致シマス、先刻監督上ノ事ニ就テ、御説明ヲ
願ヒマシタガ、今ノ御説明ニ依リマス、矢張地方官ニ於テ決シテ居ル、從
前ノ通りト云フ風ニ聽取リマシタガ、平生澤山アリマシタ處ノ廢嫡ノ願トカ、
其他戸籍上色々ノ事件ハ各府縣知事ガ之ヲ決スルコトニナッテ居ル、府縣知
事ガ多クハドノ府縣デモ郡市長ニ委任ヲシテ、ソレ等ノコトヲヤッテ居リマ
スガ、果シテ加藤君ノ御質問ノ如クニ、郡役所ノ戸籍掛リノ郡書記ナドハ、
隨分繁忙ヲ極メテ居リマスガ、アレハ總テ裁判所ニ移ルコト、思ヒマスガ、
サウデナケレバ、ア、云フ總テノ戸籍ニ關スル諸願ノ許否權ハ、府縣知事若
クハ郡市長ニ、是マデノ通り取扱フデアリマス、伺ヒタイ

○政府委員(倉富三郎君) 何か私ノ申シ違ヒデ行違ヒ生ジマシタト思ヒ
マス、唯今加藤君ガ今日ノ郡役所ノ戸籍事務ハ非常ニ繁忙デアルト云フコト
デアリマシタカラ、今日ノ繁忙ハ從來ヤリ來ッテ居ル身分上ノ許否ヲ持ッテ
居ルカラ繁忙デアリマセウト云フコトヲ申シマシタ積リデ、身分上ノ許否ノ
事ガ先ニ申シマス通り、從前地方官デヤリ來ッテ參リマシタコトガ、今後區
裁判所ニ移ルト思ヒマス

○政府委員(高木豐三君) 一寸ソレニ一言ヲ添ヘマスガ、唯今御尋ノ廢嫡ノ
コトナドノコト、最モ手數ヲ要スル所ノ願伺ト云フコトハ、成程現在ノ所デ
ハ御説ノ通りニ相違ナイデアリマス、去リナガラ、今度此戸籍ヲ大ニ心配
スルコトニナリ、即チ民法ガ實施スルコトニナリマス、廢嫡ノ如キハ、盡
ク裁判所ニ訴フスルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ今マデ規定ガナイモ
ノデアリマス、郡役所ノ許可トカ、地方官ノ何ヲ受ケタモノデアリマス
カ、サウ云フ關係ハ總テ此後裁判所デ極メルコトニナッテ、其結果戸籍吏ノ
方ニ這入ルコトニナリマス、此方ノ見込デハ今日郡役所若クハ郡長デ取扱ッ
テ居ッタ事務ハ、此法案ニ極メテアリマス、區裁判所若クハ地方裁判所デ
一々疑問ニ答ヘ或ハ指揮ヲシタリスル處マデ、當分ノ中ヤラサン積リデゴザ
イマス、戸籍吏カラ直接ニ司法省ノ方ヘ分ラヌ事ガアレバ、差向キヨコス、
此方カラ指令ヲスル、斯ウ云フ方法ニ致シマス覺悟デアリマス、一寸……

○(大津淳一郎君) ドウデゴザイマセウ、是ハドウモ此代議士ガ之ヲ殘ラズ
知ッテ居ルト云フ風ニ之ヲ承知スルコトハ出來マセヌ、之ガ質問ヲシテ宜カ
ラウト腹ニ入リサヘスレバ、ドウシテモ本案ハ贊成スルコトカ、又或ハ更ニ撤
回ヲ乞フテ、直シテ貫フト云フヨリ外、仕方ガナイ、質問ハ是非細カニ腹ニ

入ルマデ質問シナケレバナラヌト思ヒマスガ、先ヅ一章二章ト云フ風ニ分ケテ、先ヅ質問ヲシテ、サウシテ其上デ、前後ノ關係カラ質問ヲシナケレバナラヌモノハ、繰返ッテ質問シテ、一章二章カラ細カニ質問ヲシタラ如何デセウ、サウシタナラバ腹ニ這入ラヌモノハ、私共質問シタイト思フテ居リマス

〔大津君ニ賛成ト呼ブ者アリ〕

○(加藤六藏君) 私モ別ニ異論ト云フテモ何デモアリマセヌガ、唯今ノヤウデモ宜シクアリマスガ、隨意ノ方ガ却テ宜シクナイカ、總体ヲ聽キ或ハ一章ヲ聽ク、唯今ノ大津君ノ御説ノ如クデモ宜シイ、或ハ先ヲ聽キタイトカ、關係シテ居ルト云フ事ガアリマスカラシテ、先ヅ大津君ノヤウニシテ、サウシテ他ヲ合セテ質問シテ宜イト云フヤウナ範圍ヲ廣クスレバ、ソレデモ宜シイ、詰リ便利ニナレバ私ハ別ニドウト云フコトハナイ

○委員長(大田信一君) 先刻委員長ノ諸君ニ御相談ノ事ハ或ハ少ク言語ガ行届カナカッタカト考ヘマスガ、私ノ諸君ニ御申合セヲ致シタノハ、今加藤君ノ御説ノ如ク、即チ從來ノ慣習モゴザイマスシ、此當初カラ仕舞マデノ間ニ、總テノ中ニドノ箇條ニ限ラズ、諸君ガ或ハ質問ヲナサレル箇條ハナルベク御見出シニナッテ、ズットヤッテ仕舞ッテ、ソレカラ始メテ會議ニ移ルト云フヤウナ順序ニ、最初百箇條ノモノハ出シタヤウニ思ヒマスガ、サウ云フコトヲ皆様ニ御話致シタ考デゴザイマスガ、其邊ハ大津君如何デセウ、矢張章ヲ分ッテヤル方ガ宜ウゴザイマスカ

○(大津淳一郎君) 章ヲ分ッテヤッタ方ガ片付方ガ早カラウト思フデス、其上二章三章ト行ッテ一章ノコトヲ聽キタイト思フトキハ、繰返シテ聽クコトモ出來ルト云フコトニシタラ、能ク分ッテ行クダラウト思フデス

○(安藤龜太郎君) 私ハ大津君ニ賛成

○(丸山嵯峨一郎君) 今大津君ノ御話ニ依リマス、一々説明シナケレバナラヌト云フ結果ニナリマスガ、此法ハ元來私法カラシテ研究シナケレバ、到底是一ツヲ研究スルト云フコトハ出來ヌノデアリマス、故ニ私法ノ方マデモ説明ヲシナケレバ、戸籍法其者ノ解釋ハ出來ヌノデアリマスカラ、一々之ヲ説明スルト云フコトハ、此短期ノ議會ニハシ切レマイト思ヒマス、ソレデアリマスカラシテ、此戸籍法ニ就イテ餘リ私法ト衝突シテ居ル所ガナケレバ、ソレデ立ッテ居リマスシ、又委員モソレデ十分ノ責任ヲ盡シタモノト思フ、若シ私法ニ變化ヲ生ジタトキハ、從ッテ此法ニモ變化ヲ生ズル、其上デ戸籍法ノ變更ト云フモノモ生ズルノデアリマスカラ、先ヅ今日ノ所デハ、大体此戸籍法自身ニ就テノ衝突ガナケレバ、ソレデ足ルモノト信ジテ居リマス、一々説明スルト云フコトハ甚タ煩シクハナイカト云フ私ノ考デアリマスガ、ドウデアリマセウカ

○(大津淳一郎君) 私ハサウ此短期ノ日數内ニ了ラナイ程、長イ御話ヲ聽カウト云フノデハナイ、條項ヲ分チテ、向フデ説明シテ貰ヘバ、諸君ノ質問ガ少ナケレバ説明モ少ナクナルカラ、今日御仕舞ニナルカ、明日御仕舞ニナルカ、

ソレハ分リマセヌ、ソレカラ又私法ニ關聯シテ居ルカラ困ルト云フ仰セデゴザイマスガ、私ハ總テノ法律ハ私法ニ關係ヲ有タナイモノハアルマイト思ヒマス、併シ外ノ國デモ獨立シタル戸籍ノ官衙ヲ置イテ、戸籍ヲ取扱ッテ居ル國モアルヤウデスカラ、戸籍ハ一體國ノ人員ノ統計ヲシテ行クノデ、必ズシモ裁判ノ必要ノタメニ出來テ居ルノデハナイ、國家ガアレバ戸籍法ガアリ、戸籍法ガアレバ、人民ガ殖ヘルカ減ルカ、又病氣ヲ尋ネルノモ、人ノ強弱ヲ尋ネルノモ、人ノ生計ノ度ヲ量ルノモ、國ノ貧富ノ度ヲ量ルノモ、皆國ノ戸籍デ、日本ハ便宜ノタメニ戸籍ヲ私法ニ屬セシメテ居ルガ、外國デハサウデナイ、併シ此私法ニ屬スルコトハ惡ルクハナイト思ヒマスガ、一體戸籍ト云フモノハ法典ノ附屬物デハナイ、私法ノ一部分デハナイ、戸籍ハ國ノ獨立物デ、是ヨリ諸般ノ國家ノ事務ガ生ジテ來ルノデアアル、是ニ依ッテ法典モ起ルノデアアルカラ、法典ニ關係ノアルモノハ書イテ行クガ宜イ、又幾分カ戸籍ノ方デ斟酌シナケレバナラヌモノハアル、故ニ吾々ガ其調査ヲ付託サレデアル以上ハ、法典ノ調査ノ人ニ遠慮セズニ聽クダケノ事ハ聽キ、修正スルモノハ修正シテ行ッタ方ガ宜カラウト信ジテ居ル、ソレデ若シ此短期間ニ間ニ合ハヌト云フ場合ニ至ッテモ、止ムヲ得ヌコト、思ヒマス、分ラヌモノヲ此委員會ガ決議スルト云フコトハ出來マセヌカラ、ソレハ止ムヲ得マイト思ヒマス、兎ニ角一章ヅ、聽イテ行ッテ、其外全体ニ涉ル質問ハ御許シヲ請ヒ、又後トニ戻ッテ質問スルコトモ御許シヲ請フコトニシタラ、能ク分リガ付カウト思ヒマスカラ、ドウカ私ハサウ云フコトニ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(大田信一君) 諸君ニ御諮リ致シマス、唯今丸山君ノ御説モアリマスガ、別ニ動議ト云フ程ノ御説デモナシ、唯杞憂ヲナサルト云フ位ノ御話デ、大津君ノ一章二章ニ分ケテ、逐條ニ就テ質問ヲスルト云フ御説ニハ別段反對ノ御意見モナイヤウニ考ヘマスカラ、是ヨリ第一章第二章第三章、即チ第一條ヨリ四十一條マデヲ區域ニ致シマシテ、逐條ニ就テ、御不審ノ廉々ヲ御尋ネニナルヤウニ致シタイト存シマス

○(藤岡常彦君) 政府委員ニ一言念ノ爲メ御尋ネシテ置キマスガ、此戸籍法ハ法典調査會ノ方デ十分御調ニナッタノデアリマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 法典調査會デ調ベタノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 此戸籍法ニ就キマシテハ、今此委員中ノ意見モ分レテ居ルノデアリマシテ、戸籍法自身ニ就テノ效力ハ無論デアリマスガ、是ニ依テ、例ヘバ、婚姻トカ、或ハ相續トカ云フ事ニ就テ效力ヲ生スルト云フ場合ガ生シテ參ルノデアリマスガ、例ヘバ民法上或法律行為ヲスルニハ届ケヲシナケレバ效力ヲ生ゼヌト云フコトニナッテ居リマスガ、又民法上規定カナケレバ、戸籍法上假令登記スルト云フ明文ガアッタ所デ、民法ノ法律行為ト云フモノニハ關係ヲ及ボサヌト云フコトニナッテ居リマセウガ、其點ヲクドイヤウデアリマスケレドモ、御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(倉富勇三郎君) 御質問ノ要點ハ、戸籍法自体ニ效力ヲ附シテア

ルノデアアルカ、或ハ民法ノ規定ニ依テ……一寸了解シ兼ネマスガ……

○(丸山嵯峨一郎君) 先程モ大津サンノ御話ガアツタヤウデアリマスガ、戸籍法ト云フモノ自身カラシテ、民法上ノ一ノ法律上ノ效力ト云フモノガ新タニ生ジテ来ルモノデアアルカ、又其民法上ノ規定ニ於テ、十分生ジテアル所ノ效力ヲ唯戸籍上ニ現ハス趣意デ、戸籍ニ出来テアルカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 此戸籍法案ハ、全ク民法ノ規定ニ基イテ欸ヲ起シテアル、先刻モ一寸例ヲ引キマシタ、婚姻トカ隠居トカハ、民法デ戸籍吏ニ届出ルト云フ規定ガアリマスカラシテ、夫ヲ本ニシテ、其届出ノ手續ヲ規定シタモノデアリマス

○(片岡勇三郎君) 私ハ第六條ニ就イテ御問ヲ致シマスガ、是マデ町村長ナドガ扱ヒマシタ時分ハ、過失ニ依ッテ生ジタル場合ハ、止ムヲ得ナイモノデアアルト云フ方ノ事柄ガ多イデアリマスガ、獨リ此戸籍法ノ第六條ニ限リ、重大ナル過失ニ依ッテ生ジタル場合ニ限リ、報償スルト云フハ、ドウ云フ理由カラレテ、殊更ニ茲ニ掲ゲタモノデアリマスカ、其趣意ヲ伺ヒタイ

○政府委員(倉富勇三郎君) 此過失ノ責任問題ニ就イテハ、從來殊ニ困難ヲ感ズル點デ、殊ニ戸籍吏ノミナラズ、一般ノ官吏公吏ノ職務上ニ就イテ、責任ヲ負フヤ否ヤハ、殆ド未定デアルト言ッテ宜イ位デ、偶ニ裁判所デ裁判シタ例モアリマスガ、是トテモ十分ノ例ガ無い、夫デ今日マデ殆ンド曖昧ノ間ニ過ギテ居ルガ、前ニ發布セラレタ民法ニ、不法行為ト云フ章ガアリマス、其規定ニ依ルト、故意又ハ過失ニ依リ生ジタル損害ハ、賠償ノ責ニ任ズルト云フ、餘程廣イモノニナッテ居ルガ、今日マデハアリマセヌケレドモ、此民法ガ施行セラレルトキハ、或ハ裁判上ノ關係ニナリハセヌカト思フ、夫デ第六條ノ規定ハ、民法ノ七百九條ノ通り、之ヲ絶對ニ適用シナイ、故意若クハ過失ノ上ニ、重大ナル場合ハ賠償セシムルトシテ、制限シタ積リデアアル、戸籍吏ハ多忙ナ職務デ、其方ニ取紛レテ、僅カノ過失モ一々賠償スルト云フコトニナッテハ、餘程困ルデアラウト思フ、又實際免レヌコトガアリマスカラ、特ニ此規定ヲ設ケタノデアリマス、尙ホ參考ノタメニ申シテ置キマスガ、不動産登記法ニモ是ト同シヤウナ規定ガ置イテアリマス、夫デ故意ニ損害ヲ加ヘタル場合ハ、賠償スルト云フコトハ無論デアアルガ、夫ナラバ過失ハドウカト云ッテ見ルト、過失ニ依ルモ重大ナモノナラバ、夫モ責任ヲ負ハヌト云フハ無理デアラウト思ヒマスカラ、故意ノ場合重大ナル過失ノ場合ハ賠償セシムルガ、先ヅ適度デアラウト思ヒマス

○(小磯進君) 第一條ノ身分ト云フハ、是マデハ詰リ士族トカ平民トカ華族ト云フ族籍ヲ稱シテ、身分ト云フコトニ普通唱ヘテ来タヤウニ思フテ居リマスガ、今日此戸籍法ノ所謂身分ト云フ文字ハ、第四章ノ二節カラ二十一節マデ是等ノコトヲ指シタモノト見テヨイデスカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 御解釋ノ通りデ、華士族平民ハ此法案ニ於テハ族稱ト名義ガ付ケテ居リマス、一二例ヲ申セバ、戸主デアルトカ家族デアアル

トカ、夫デアル妻デアルト云フ様ナコトヲ身分ト唱ヘテ居リマス

○(小磯進君) 失踪トカ死亡トカ婚姻離婚トカ云フモ、矢張り身分ト云フコトニナルデスカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 左様デゴザイマス、婚姻ト言ヘバ、婚姻ニ依ッテ夫婦ト云フ關係ヲ生ジマス、夫カラ失踪ハ失踪ノ宣告ニ依ッテ死亡ト見做ス、死亡ハ今マデ一人トシテ居ッタモノガ、人トシテ身分ガ無クナリマス

○(大津淳一郎君) 六十九條ノ出生地又ハ父母ノ本籍地ヘ届出ヲ要ストシテアルガ、サウスルトドチラヘ届ケ出テモ宜イト云フコトニナルト、例ヘバ出生地デ届出テ本籍地ノ戸籍簿ニハ載ラヌト云フ様ナコトヲ生ズル場合ガアル、夫デハ一般ノ統計ニ大變違ヒヲ生ズルデアラウト思フガ、サウスルトコトノナイ様ニナルノハ何處ニカ規定シテアリマセウガ、一寸見當リマセヌガ、サウスルト統計ニハ這入リ或ハ本籍地ニ届出デ、モ、寄留地ニ届出デ、モト云フトキハ、ドウ云フコトニナッテ居リマスカ、モウ一ツハ、七十一條ニ届出ハ父ヨリナスト云フコトニナッテ居リマスガ、從來ノ例モ斯ウ云フコトデゴザイマスガ、私ノ考ヘル所デハ、總テ戸籍簿ニ登記セラレベキ戸主カラ、或ハ某ノ長男、某ノ長女次女、或ハ養子トシテ、戸主ヲ本トシテアル、ソレヲ父ガ出スヲ主ニシテ、死亡ハ戸主カラ出スヲ主ニ取ル、其戸主ガ届出ガ出来ナケレバ、コウコウト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ在来ノ遣リ方ハ、戸主ヲ本トスルト私ハ信ジテ居リマス、或ハサウデナカッタカモ知レマセヌガ……ソレヲ一戸ノ主人タル戸主ニセズニ、父ヲ本ニ届出ヲナシタ所以、又死亡ノ方ハ、親ガ死ネバ嫡子カラ、子ガ死ネバ其父母トカ云フモノカラ、届出ルト云フコトヲセズシテ、死亡ノ方ハ戸主ヲ本ニシタ所以、此二點ヲ……外國ナドデハ領事公使ニ届出ル、領事公使ハ外務省ニ、外務省ハ本籍ニ届出ルト云フコトデスカラ、本籍名簿ニ出マセウガ、是デハ統計ノ取りヤウガナクナルト思ヒマス、其土地ノ出生ガ幾ラ死亡ガ幾ラアルカト云フコトノ統計ノ取りヤウガナイヤウデス

○政府委員(倉富勇三郎君) 第一ノ御問デゴザイマスガ、此出生ノ届出ハ、出生地本籍デナケレバナラヌ、今日デモ其出生死亡ハ管轄内デ届出ル例モアリマスガ、是モ本籍ニ届出ル義務ヲ負ハセルノデ、出生死亡届出ノ便宜ヲ計リマシタ、其結果トシテ、先ヅ届出ヲ受ケタ戸籍吏ガ、本籍ノ戸籍吏ニ届書ヲ送り、其届書ニ依ッテ、更ニ本籍ニ登記ヲスルト云フ手續ヲ取ッタノデ、其規定ハ此法案ノ三十五條ノ所ニ定メテアリマス

○(大津淳一郎君) 分リマシタ

○政府委員(倉富勇三郎君) 第二ノ御問デゴザイマスガ、現今ノ所デハ、總テノ届ケガ、先ヅ戸主カラスルト云フコトニナッテ居ル、此出生トカ死亡トカ云フモノハ、寄留者デアレバ、戸主デナクバ、自身デ届出ルト云フコトモアリマスノデ、此節ノ民法ノ規定デハ、必ズシモ戸主ヲ以テ必ズ届ケノ義務者トスルト云フコトデナク……尤モ此出生ノ届ケハ、何モ民法ノ規定ガアリマセヌ

ガ、此親ト子ト云フモノハ、從來民法ハ一ニ見テ居ルモノデゴザイマス、ソレデ此出生ノ居ケハ父カラスルト云フコトヲ本則トシテ、變例トシテ戸主ヲ並ベタノデ、是非トモ戸主デアッテハイカヌト云フコトノ道理デアリマセヌケレドモ、一番其人ニ縁ノ近イ所ノ父親ニ第一ニ居ケノ義務ヲ持タシタモノデアリマス、又死亡ノ居ケハ戸主カラスルト云フ、是モ第一カラ第三ノ順序ヲ付ケテ居リマシテ、總テ居漏レノナイコトヲ慮ッタデアリマス、此時ハ死亡者ノ父トカ子トカ極メ爾譯ニハ參リマセヌ、ソレデ戸主ヲ第一ニシテ、其次ギニ同居者家主ヲ第二ニ並ベタノデ、出生ノ場合トハ親族ノ關係ノ具合ガ同一ニ參リマセヌカラ、戸主ヲ第一ニ置イタデアリマス

○(大津淳一郎君) 此四十一條ハ私ダケハ餘程大事ナコト、考ヘマスガ、戸主ト云フモノニ重キヲ置カシテ、個人ト云フモノニ重キヲ置カセヌノガ、日本ノ家族制ノ戸籍ノ本源デス、ソレヲ當事者ガ居出ル、子ヲ産メバ父ガ居出ルト云フコトハ、歐羅巴ノヤウナ個人制ノ戸籍ニ移リ變ル基ト思ヒマス、日本ノ現今ノ戸籍法ヲ重シトスルナラバ、戸主ニ重キヲ置カケレバナラヌ、ソレヲ今生レタモノヨリ、續キ合ノ近イ子ハ、親ガ近イカラ親ガ居ケル、婚姻ハ夫ガ居ケルトナレバ、戸主ニハ家族一般ノ責任ヲ負ハセルト云フヤウニナッテ居ッテ一般ノ家族ノ責任ヲ負ハセルト云フ戸主ガアリナガラ、戸主ノ承諾シナイ人間ガ戸籍ノ中ニ載ッテ仕舞フ、庶子デアルトカ私生兒デアルトカ云フ者ヲ自分ガ居出ル、サウスル、ト、戸主ノ知ラヌモノガ大分出來ヤウト思ヒマス、知ラヌ戸籍ノ人ガ出來テ居ルノニ、戸主ニ家族全般ノ責任ヲ負ハセルハ、六カシクアリハシナイカト思ヒマス

○政府委員(倉富勇二郎君) 出生ノ居出ハ父ニスルト云フ主旨カラ、規定ヲ致シマスガ、必ス戸主ヲ第一ニシテモ實際行ハレヌコトモアリマス、ソレデ父ヲ第一ニシテ、戸主ヲ第二ニ置イタヤウナ次第デアリマス、ソレデ其結果トシテ戸主ノ知ラヌ者ガ家族ニアルト云フコトガナイカト云フ御懸念デスガ、是ハ民法ノ規定ニ依ッテ決シテサウ云フ結果ハ生ジナイデアリマス

○(大津淳一郎君) 其規定ハドウ云フ規定デアルカラ要シナイト云フコトヲ、此戸籍法ノ方ニ係ッテ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(倉富勇二郎君) 民法ノ七百三十五條ニ「家族ノ庶子及私生子ハ戸主ニ同意スルニ非サレハ其家ニ入ルコトヲ得ス、庶子カ父ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ母ノ家ニ入ル」ト斯ウ云フ風ナ規定ガアリマス、家族デアッテ自分ノ庶子或ハ私生子ヲ戸籍内ニ入レヤウトスルニハ、是非トモ戸主ノ同意ヲ得ナケレハナラヌ、ソレデ此法案中ニモ百四十六條デゴザイマス、「入籍離籍及ヒ復籍拒絕」是ハ入籍離籍及ヒ復籍拒絕ト云フ處デゴザイマス、其次ノ百四十七條ニ「民法第七百三十五條第一項云々」ニ據テコレコレノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ、「居出人ハ居書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲サシメタル者ヲシテ居書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名捺印セシムルコトヲ要ス」ト云フ規定ヲ置イタノデゴザイマス、ソレデ唯今御懸念ニナリマサウナ戸主

ノ知ラナイ間ニ、内ノ家族ガ殖ヘテ居ルヤウナコトハナイヤウニ出來マス

○(大津淳一郎君) 重ネテ一ツ御問ヲ致シマスガ、現在ノ通りニ、戸主ニ居ケ出サスルト云フ戸主ハ家族全体ノ責任ヲ背負フガ故ニ、孫デアラウガ長男ノ庶子デアラウガ、叔母ノ子デアラウガ叔父ノ子デアラウガ、己レノ戸籍ノ内ニ在ッテ支配スベキ者ハ、戸主カラ居ケ出サスルト云フ法則デアッタヤウニ承知スル、然ルニ現在ノ法ヲ破ッテ、近親ヨリ居ケ出ルト云フコトニシナケレバナラヌト云フ理由ハ、ドウ云フ譯デゴザイマス

○政府委員(倉富勇二郎君) ソレハ先刻申シ述ベマシタ六十九條ノ「出生地又ハ父母ノ本籍地ノ戸籍吏」ト、斯ウ云フ規定ヲ置キマシタメニ、必ズ出生地ニ戸主ガ在ルト云フ限リモアリマセズ、又一方カラ言ヘバ、居ケ出デ、ゴザイマス——一種ノ居ケ出デ、ゴザイマスカラシテ、一番關係ノ近イ父ト云フ方ヲヤラナケレハナラヌ

○(大津淳一郎君) ソレカラハ十五條ノ仕舞ヒノ一、二、三項ノ續キデゴザイマスナア「養子カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ縁組ニ因リテ他家へ入ル場合ニ於テハ云々」トアリマスルガ、現在ノ法ニ據リマスルト、養子カラ養子先キニ轉ズルト云フコトハ出來ナイ法デアッタカト思ッテ居リマス、私ガ某ノ名字松平家ヘ養子ニ往ッテ松平家ノ養子デアアルノニ今度ハ島津家ヘ婚ニ行クトカ、養子ニ行クトカ云フ事ハ、出來ナイ、法デ養子ト云フモノニ行ッタラハ、一旦本籍ヘ復籍シナケレバ行カナイコトデアッタト思フ、養子カラ養子先キニ行クト云フヤウニナリマスルト、親族ノ關係ガ深イ、例ヘバ女ナラハ養女——養女ガ又先キノ養女ニナルト云フコトニナルト、其先キノ養女ニ行クヤウニ段々離レテ行ッテ、其親族ノ近親ノ關係カナクナルカラ、所謂之ヲ奴隸ニ賣ッテ仕舞フトカ、娼妓ニ賣ッテ仕舞フトカ云フコトガ出來ルガ、本籍ヘ移ルト云フ近親ヲ重ンズル慣習カラ成立ッテ居レバ、養子カラ養子ニ、養女カラ養女ニ行クトハ出來ナイ、一旦本籍ヘ歸ルコトニシナケレバナラヌト云フコトハ、誠ニ宜シイと思ッタ、サウ云フ意味ノ法デアッタト記憶シテ居リマス、然ルニ之デ見マスルト、養家カラ更ニ他家ヘ縁組ガ出來ルヤウニ見ヘマスガ、養子カラ更ニ婚ニ行クトカ云フコトハ之ハ差支ヘナイト云フコトデ、御規定ニナッタノデゴザイマセウカ

○政府委員(倉富勇二郎君) 唯今ノ御質問ハ、如何ニモ是マデノ取扱ヒデハ、養家カラ直チニ養子或ハ養女ニ行クトハ許シテナイヤウデアリマス、然ルニ民法ノ此節提出ニナリマシタ修正案ノ七百四十一條デアリマス、「婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ他家へ入リタル者ガ更ニ婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ他家へ入ラント欲スルトキハ婚家又ハ養家及ヒ實家ノ戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス」ト云フ規定ヲ置イテアリマス、此修正案ニ於テ直チニ斯ウ書イタハ、養家カラ更ニ婚姻縁組ニ因リテ他家へ入ルト云フコトヲ認メル譯ニナッテ居リマス、ソレニ就イテハ、勿論戸主ノ同意ヲ得ナケレバナラヌコトハ、規定ハ置イテアリマスガ、兎ニ角民法ニサウ云フ規定ガゴザイマスカラシテ、此戸籍法案

ニ此規定ヲ置キマシタ、決シテ戸籍法ヲ以テ斯ウ云フコトヲ特ニ許シタ次第
デハアリマセヌ

○(大津淳一郎君) ソコガ私ノ迷ッテ居リマスル所デゴザイマス、所謂法律家
デナイカラ知ラヌノデアリマスガ、戸籍法ノ方カラ以テ往ッテ民法ヲ直シタラ
宜カラウ民法ニ斯ウアルカラ戸籍法ヲ斯ウシナケレバナラヌト云フコトハア
ルマイ、戸籍法ハ戸籍法ヲ獨立ノモノデアアルカラ、戸籍ヲ本ニシテ民法ヲ直
シ得ザルモノハ仕方ガナイガ、直シ得ルモノハ直シテ行カナイト云フト、此
頃世ノ中ニ議論ガアル、民法ハ大分家族制度ヲ破ルト云フト云フコトヲ云フ
人ガアル、併シ、ソレハ私ハ知リマセヌガ、何故ニ斯ウ云フモノハ、日本ノ舊
來ノ慣習ニ從ハヌカ、民法ノ方ヲ却テ避ケラレル途ガアレバ、日本ノ慣習カ
ラシテ民法ヲ修正スルト云フ方ニ行カナカッタノデゴザイマセウカ、ソレハ
戸籍ノ分ヲ從ニセズシテ、戸籍ヲ主ニシテ、日本ノ慣習ヲ主ニシテ、ヤッテ行ク
ト云フコトガ出來ナカッタノデハゴザイマセウカ、其邊ノ御考ヘハドウナッテ、
居リマスカ

○政府委員(倉富勇二郎君) 唯今ノ御問デゴザイマスガ、兎ニ角是ハ身分ニ
關スル居出デト云フコトデゴザイマシテ、身分ノ變更ガアツタナラバ、ソレ
ヲ居出デロ、サウスレバ戸籍役場ノ方デハ、ソレヲ登記ヲスルト云フ手續キ
デゴザイマス、ソレデ戸籍法ノ方デ民法ノ規定ヲ改メルト云フコトハ、之ハ
勿論未定ノモノデアリマスケレドモ 若シ民法ガ其通りノ規定デ行ハレマ
スルト、斯ウ云フ事實ガアツタトキニ之ヲ全ク登記スル途ガナイ、ソレデ此民
法ノ規定通りノモノガ行ハレトスレバ、餘儀ナク、斯ウ云フ手續キヲ置ク
ノハ戸籍法ニ於テハ已ムヲ得ナイト思ヒマス

○(大津淳一郎君) 戸籍法ニ於テ許サヌ——サウ云フ事ヲ許サヌトシテ行キ
マシタナラバ、之ヲ犯シタ者ハ罰ノ法ヲ付ケラレマセウカラ、事實ニアツタ
トキニハ困ルカラ、民法ノ方デハアツテモ宜シイト云フ許シヲ置イテ、之ヲ
編纂シタト云フノハオカシウゴザイマスガ、——解セナイノデゴザイマスガ、
戸籍法ニ置イテアレバ、民法ノ方ノ規定ハ自然必要ガナクナルデアラウト思
フ、又ナクテナラヌ事實ガアレバ、ドウ云フ風ノ規定ニ民法ヲ致シマセウト
モ、從來ノ慣習通り養子ニ行ッタ者ハ、養子先キヨ——養家カラ養家ニ轉ズ
ルト云フコトハ日本ノ慣習ニナイコトデアリマス、一旦本籍地ヘ歸ラヌケレ
バ——本籍地ノ承諾ヲ得ナケレバ、決シテイケナイモノデアアルカラ、民法ノ
方デハ戸主ノ承諾トゴザイマスガ、ソレハ養家ノ方ノ戸主ノ承諾デゴザイマ
スカラ、無論他人——ソレカラ又先キカラ先キヘ、其先キカラ又其先キヘ行ク
ヤウニナリマスレバ、無論他人ニナリマス、本籍デハ必ズ他人ニナリマスケレ
ドモ、血縁ノアルモノデアアル、サウスルトソコカラ戻ッテ來レバ、ドウナル
カト云フコトニナリマス、民法ノ方デ養子ガ他家ヘ行クトキニハ、本籍ノ
父母等ノ承諾ガナケレバ、行カナイトカ云フノナラバ、吾々共満足ハ出來マ
スガ、戸主ノ承諾バカリトナリマス、他人ガ——私ガ養子ヲ貰ヒマス、

此養子ガ氣ニ入ラヌカラ、ソレヲ奴隸ニ賣ラウ、娼妓ニ賣ッテ、外國ニヤッテ
仕舞フカ分ラヌト云フノヲ、私ハ血縁ノアル所ノ父母親戚ハ、ソナナコトハ
出來ナイカラ、養子ニ行ッタトキニ其養子ヲ向フヘヤルト云フコトハ出來ヌ
ト云フ制度ハ保存シタイト思ヒマス、議論ニナッテハ如何デスガ、御尋スル
コトダケハ御尋シタイト思ヒマスカラ……

○政府委員(倉富勇二郎君) 唯今ノ實家ノ戸主ノ同意ト云フコトニナッテ居
ル、ソレカラ尙御參考ヲ願ヒタイノハ、民法ノ八百四十五條デアリマス

○(小野隆助君) 此第三章第十五條ノ四項ニ「戸籍吏ガ身分ニ關スル事項ヲ
記載シタル航海日誌ノ謄本ノ送附ヲ受ケタルトキ」斯ウ云フコトガアル、殊
更ニ航海日誌謄本云々トアルノハ、ドウ云フ次第デアリマスガ、チヨット承
リタイ

○政府委員(倉富勇二郎君) 是ハ如何ニモ第十五條ダケデハ、少シ明瞭デア
リマセヌガ、此法案ノ七十八條ヲ御覽下サレバ分リマス、ソレカラ法案ノ百
三十條

○(小野隆助君) 分リマシタ

○(大津淳一郎君) 是ハ此條項ニ付イテノ問デハナイヤウデアリマスガ、若
シ是ヲ記載スルナラバ、六十八條ト思ヒマスガ、今ノ戸籍法ニ依ッテ統計杯
ヲ見ルト、費用ニ困ッテ居ル者ガ、双子及三人四人マデアルトキハ、人ノ強
弱ヲ見タリ、人種ノ發達ヤ何カニ大關係ガアリマシテ、佛蘭西杯ニハ双子等
ハナイノデアリマスガ、獨逸邊デハ五人位マデモアルコトガアルサウデス、
是ニハ居出ノトキニ、双子等ヲ居出マス、國ノ統計上ニ大變益ガアルノデ、
外デハサウ云フコトハ、チヤント調べ置クコトニナッテ居リマスガ、是ニ
ハ六十八條ノ居書ニサウ云フ區分ヲ書イテ置イタラ——書クノナラバ、此處
ニ書クノガ相當ト思ハレマス、雙子ヤ何カノコトニ就イテノ賭易イヤウニ國
ノ必要上カラ賭易イヤウニ規定スルト云フヤウナコトハ、御考案ノトキニハ
ナカッタデアリマスガ

○政府委員(倉富勇二郎君) 其事ハ全ク研究シナイ次第デハナイノデアリマ
ス、第一ニ考ヘマシタノハ、雙子ノ兄弟姉妹ノ順ハ、何ニ依ッテ定メルカト
云フ問題モ出マシタ、ソレハ此六十八條ノ出生ノ年月日出生居ニ限ッテハ、十
日內ニ居出サセルト云フコトニナリマスレバ、兄弟姉妹ノ順序ハ、見當テガ
付クト思ヒマス、ソレデ一目ニシテ見ル必要ガアルカト云フコトハ、別ニ感
ジナカッタノデスガ、是ニ依ッテ、調ヲ付ケレバ、分ルコト、思ヒマシタノ
デアリマス

○(大津淳一郎君) 政府委員カラ先程片岡君カラノ質問デシタカ知リマセヌ
ガ、廢嫡云々ノ事ハ凡テ裁判ノ決定ニ依ッテ云々ト云フ御答ガアリマシタガ、
アレハ凡テ裁判ノ決定ト云フノハ、可笑シクハアルマイカ、廢嫡セラルベキ
嫡子ガ、承諾ヲシ、父母モ承諾シ、所謂父ガ戸主デアルトカ、或ハ又祖父ガ
戸主デアルトカ云フトキニ、是デハ凡テ親族會議デ協議ノ上デ、本人モ承諾

フシテ行キマシタトキハ、裁判ノ決定ヲ俟タナイテ廢嫡ヲスルコトガ出來ル、若シ祖父父母や親族ガ廢嫡ヲシヤウト思フテモ、廢嫡子タル者ガ之ニ不服ヲ唱ヘルトキハ、裁判ニ移スト云フ民法ノ規定ニ任セスト云フコトニナツテ居リマスガ、今度ハ凡テ協議ノ上デモ、裁判ノ決定ニ據ルト云フノハ、ドウ云フコトデアリマセウカ、先キ御説明ハドウデシタカ

○(安藤龜太郎君) 此第二十一條ノ「被登記者ノ本籍カ分明ナラサルトキハ非本籍人自分登記簿ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス」トアリマスガ、若シ本籍ノ分明ナラザルモノヲ登記ヲシタ以上ハ、其市町村ノ住人トスル御考デアリマスカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 是ハ特ニカウ云フ規定ヲ置キマシタデゴザイマスケレドモ、實際ハ極ク稀有デ、外ニハ決シテナイ話デアリマス、唯死亡ノ場合——能ク今日デモ行倒レト云フモノガアツテ、全ク誰カ分ラナイト云フトキハ、死亡ノ手續ヲ定メルタメニ規定シマシタガ、其他ノ場合ニハ誰カ分ラヌト云フコトハアリマセヌ

○(小野隆助君) 第二十一條ノ方ノハ分リマシタガ、十九條ニ非本籍人トアリマスノハ、アレハ是迄ノ寄留トカ、附籍トカ申サウナ分モ加ツテ居リマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 是ハ非本籍人ト申シマスノハ、御解釋ノ通り寄留トカ、或ハ寄留ノ手續ヲシテ居ナイ一時ノ止宿人モ、茲デハ非本籍人ト致シマス

○委員長(大田信一君) 第一章ヨリ第三章マデノ質問ガ大抵終ヘタヤウニ思ヒマスガ、其中第四章モ加ツテアリマシタガ、尙第一章ヨリ第三章マデハ是デ止メテ、第四章ニ就イテ是ヨリ御質問ノ廉ガアレバ……第四章ハ隨分一章ト雖モ、大部分ヲ占メテ居リマス、尙又御尋殘シノ部分ハ、遑ッテ御尋ニナツテモ差支ハアリマセヌ

○(小磯進君) 此第四十二條第二項ニ「居出人カ本籍ヲ有セサル時ハ」ト云フ場合ハ、如何ナル場合ヲ想像セラレマシタモノデアリマスカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 是ハ稀有ナ事デアリマス、ソレハ何カ自分ニ關シテ居出ヲシヤウト云フトキニ、本籍地ヘ居ケヤウトシテモ、無籍デ分ラヌ何處ヘ居ケテヨイヤラ分ラヌト云フコトガアリマスカラシテ、カウ云フ事ヲ定メマシタ、又今日モ段々減シテ居リマスガ、無籍ト云フモノハ、餘程澤山アリマス

○(小磯進君) サウシマスルト「其居出ニ關シテハ所在地ヲ以テ本籍地ト看做ス」ト云フ事ニナツテ居リマスガ、之ニ依ツテ見ルト、永久其處ヲ以テ本籍ト定メルト云フコトニナラナイヤウデスガ、矢張り無籍者ハ到ル處ニ居出ヲ死亡シタトキハ、本籍地ト看做シテ居出ルト云フコトノヤウデアリマスガ、サウスルト餘程穿鑿ニ困リヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(倉富勇三郎君) 此法案ノ百九十七條ノ所ヲ……ソレデ唯今御話ノ四十二條ノ方ハ、身分上ノコトヲ居出ルトメニ免ニ角ニ所在地ヲ以テ、本籍

地ト看做スト云フコトヲ規定シテ居ケサセルト云フ規定ヲ置クノデゴザイマス、百九十七條ノ方ハ無籍人ハ是非トモ本籍ニ就カナケレバナラヌト云フ規定ヲ置キマシタノデアリマス

○(小野隆助君) 此第七十一條ノ「嫡出子出生ノ居出ハ父ヨリ之ヲ爲シ」トアツテ「民法第七百二十四條第一項第二項云々」トアリマスガ、是ハドウ云フ規定ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 是ハ民法ノ規定ハ、大分込入ツタ規定デゴザイマスカラ何デスガ、七百三十四條其前ノ條ノ七百三十三條ニ、斯ウ云フ規定ガアリマス「子ハ父ノ家ニ入ル」子ハ必ズ父ノ家族デアアル、斯ウ云フコトヲ規定シテアル、所ガ七百三十四條ニ「父カ子ノ出生前ニ離婚又ハ離縁ニ因リテ其家ヲ去リタルトキハ前條第一項ノ規定ハ懷胎ノ始ニ遡リテ之ヲ適用ス」此趣意ヲ摘シテ申上ゲマス云フト、前ノ條ハ子ハ父ノ家ニ入ルト云フコトニナツテ居リマス、所ガ子ノ父ガ養子デ、子ノ生レル前ニ養家ヲ出タト云フ場合ニ、父ノ家ニ入ルト云フト、却テ養子ノ實家ニ入ルヤウナ結果ニナリマスカラ、其時ハ懷胎ニナツタトキカラ、父ノ家ニ入ルト云フノデスカラ、養家ノ方ノ子ニスルト云フ規定ニナツテ居リマス、ソレデ七十一條ニ此例外ヲ設ケテ、父ガ居出ヲ爲スコト能ハサル場合、及民法第七百三十四條第一項即チ其父ノ家ニ入ラナイ、養子ニ行ツテ養家ヲ去ツタ場合ハ、養家ノ子ニシテ居出テサセル、斯ウ云フ趣意デアリマス

○(小野隆助君) 成程分リマシタ

○(安藤龜太郎君) 此四十七條ノ第二項ニ「禁治產者カ居出ヲ爲ス場合ニ於テハ居書ニ居出人カ居出事件ノ性質及ヒ效果ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ醫師ノ診斷書ヲ添フルコトヲ要ス」トゴザイマスガ、是ハドウ云フ意味デアリマセウカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 是モ同ジク民法ノ規定ト牽聯ヲシタ條項デゴザイマスガ、民法ノ規定ニ依リマス、禁治產者ニハ後見人ガ付イテ居ル、法定代理人ト云フモノガアルデス、所ガ其禁治產者ガ私生子ノ認知ヲスルト云フトキニハ、法定代理人ノ同意ヲ要シナイ、又禁治產者ガ隱居ヲスルトキモ、其通リデアリマス、婚姻ヲスルトキモ同意ヲ要シナイト云フ規定ガアル、ソレデ四十七條ノ第一項ノ方ハ、固ヨリ法定代理人ノ同意ヲ要シナイ場合デアリマスカラ、此場合ニ於テハ禁治產者ハ自身ノ名ヲ以テ居出ヲ爲スニ相違ナイケレドモ、若モソレガ本意デナイカモ知ラヌト云フ懸念ガアリマスカラ、此結果ハ斯ウ云フ結果ニナルト云フコトヲ會得スルダケノ能力ヲ有ツテ居ツタト云フコトヲ證據立テルニハ、外ニ證明ノ道ガアリマセヌカラ、醫師ノ診斷デヤツテ不都合ノ生ジナイタメニ是ダケノ注意ヲ置イタノデゴザイマス

○(加藤六藏君) 百十四條ノ後見人、是ハ一名ニ限リマスガ、一名以上デモ宜イノデゴザイマスガ、又現今ハ一名ニ限ツテ居ルガ、二名以上デモ差支ナイコトニナツテ居リマスガ、併セテ御聽申シタイ

○政府委員(倉富勇三郎君) 後見人ハ一名デナクテハナラヌカ、數名アツテモ宜イカト云フコトハ、戶籍法ニ定メ置クベキモノデハアリマセヌ、民法ノ九百六條ニ「後見人ハ一人タルコトヲ要ス」ト云フ規定ヲ置イテアリマス

○(加藤六藏君) 現今ノ……

○政府委員(倉富勇三郎君) 是ハ十分定ツタ制度ト云フモノハアリマセヌケレドモ、慣例ハ一人ニナツテ居リマス

○(片岡勇三郎君) 此役場ノ收入ト致シテ宜イ所ノ手数料ヲ、若シ届出人ガ貧窮ニシテ納メルコトガ出來ナイト云フ場合ニハ、之ヲ除外スル特例ガ何處ニカアリマセウカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 夫レダケノ規定ハ此法案ニハゴザイマセヌ、併シナガラ此金額ヲ定メルハ命令デゴザイマスカラ、何レ極小額ニ定メラレルデアラウト思ヒマス、壹錢貳錢モ出來ナイト云フ事モアルカモ分ラヌケレドモ、兎ニ角戶籍簿ヲ見ルトカ、身分登記簿ヲ見ルトカ云フヤウナ場合ノ手数料デゴザイマスカラ、到底高イ金額ヲ拂ハセルト云フコトハ無カラウト思ヒマス

○(片岡勇三郎君) 若シ其小額ノ金デモ納メルコトガ出來ナイ場合ニハ、ドウ云フコトニシタラ宜イカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 本トガ届出ト云フコトデアリマスレバ、是非トモ法律ノ命ズル事柄デアルガ、戶籍簿ヲ見ルトカ、或ハ身分登記簿ヲ見ルトカ云フコトハ、自分ノ隨意デ、何カ利益ノタメニ見ルノデアルカラ、法律ハ決シテ見ルトコトヲ命ジハシナイ、若シ手数料ガ無クテ見ラレヌト云フコトデアラナラバ、或ハ不利益ナ事ガアルカモ分ラヌガ、何事ノタメニ法律カ行ハレヌト云フコトハ無イ

○(大津淳一郎君) 第十一節ノ隱居ノコトデゴザイマスガ、現在ノ有様ヲ見ルト、隱居ノ届出ハ別ニ無イガ、本案ニ依ルト隱居スル方モ相續人ノ方カラモ届ケルコトニナツテ、兩方カラ届ケルコト云フコトヲサセルノデゴザイマセウカ、是マデハ一方カラ出レバ、家督相續ノ届ガ出レバ別ニ隱居ノ届ヲ出サヌデモ宜イガ、斯ク兩方ニ手數ヲ掛ケサセル譯ハドウ云フ譯デゴザイマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 是モ全ク民法上ノ關係カラ來タノデゴザイマスガ、民法ノ七百五十二條以下ニ隱居ニ關スル規定カゴザイマス、此隱居ノ事ニ就イテハ、先日議場デモ御質問ガアツテ、他ノ委員カラ御答シマシタガ、隱居ニハ制限ヲ付ケテ今日程容易ク隱居ヲ許サヌコトニナツテ居ル、其中ニ隱居ハ戶籍吏ニ届出ナケレバ効力ヲ生ジナイト云フ規定ガ設ケテアルカラ、夫レデ隱居ト家督相續ヲ一緒ニ届出ツレバ宜イト云フ譯ニ參リ兼ネルカラ兩方ガ届出ルコトニ成ツテ居ル

○(小野隆助君) 從來ノ戶籍法ヲ見ルト、家族ノ記載方順序ガアリマシタガ、此戶籍法ヲ見ルト其邊ハ一向規定ガ無イデゴザイマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 百七十七條ニゴザイマス

○(小野隆助君) 所ガ此庶子ト云フ文字ガ見ヘテ居ルガ、庶子ノ出生ハ父ヨリ届出ルト云フ順序カラ云フト、妾ト云フヤウナモノハ矢張戶籍ニ入ルモノデスカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 是レハ民法ノ規定ニ於テハ勿論サウ云フモノハナイノデアリマスケレドモ、併シナガラ從來戶籍ニ入ツテ居タモノデゴザイマスレハ、矢張今後モ戶籍ニ入リマス、夫レハ第六戶主ノ親族ニアラザル者ト云フ一項ガゴザイマス、夫レハ他ニモ必要ガゴザイマスガ、サウ云フコトモ幾分ガ慮ツテ之ヲ置イタノデゴザイマス

○(大津淳一郎君) 十四節ノ相續人デゴザイマスガ、民法ノ何條カニ依ツテ、總テ相續人ヲ廢メルト云フコトハ、裁判所ノ方ヘ持出スト云フコトニ民法ニ極ツテ居ルカラ、サウ云フ譯ダト云フコトデゴザイマシタガ、此十四節中ニハ民法ノ何條ト指シテ無イガ、何條デゴザイマシタカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 九百七十五條デゴザイマス……「此民法ヲ施行シマス、施行法ト云フモノガアリマスル、六十二條ニ「民法施行ノ際家族タル者ハ民法ノ規定ニ依レハ家族タルコトヲ得サル者ト雖トモ之ヲ家族トス」ト云フ規定ガ設ケテゴザイマス、從來家族デアッタ者ナラバ、矢張今後モ家族トシテ引續キ家族トシマス

○(小野隆助君) 夫レカラ尙ホ伺ヒマス、將來ハドウナリマス、是マデ家族デナイ親族デナイモノ、取扱ハ、ドウナリマス

○政府委員(倉富勇三郎君) ソレハ今後家族トシテ、戶籍ニ入レルト云フコトハ認メラレマスと思ヒマス

○(小磯進君) 妾ハ親屬デナクテモ、矢張其子ハ親族デスカ

○政府委員(倉富勇三郎君) ソレハ第四項ノ直系卑屬ト云フモノニ入リマス

○(小磯進君) 將來妾腹ニ子ガ出來マシタトキハ、ソレハ私生兒ト云フコトニナリマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 民法ノ規定ニ依ツテハ、私生兒ニナリマス、私生兒ノ父親ガ認メテ自分ノ子ノ認知ヲ致シマスレバ其時カラ庶子ト云フコトニナリマス

○(大津淳一郎君) 十四節ノ相續人ノ廢除ト云フコトハ、親屬ノ協議、本人ノ異議ガナケレバ、廢除スルハ隨意デスカ、ソレヲ九百七十五條ノ規定ガアツテ、正當ノ事由ガアリ云々ト云フコトヲ附シテ、凡テ裁判所ヘ持出スト云フモ是ハ別ニ議論モ何モナイヤウデス、ソレヲ裁判所ノ手數ヲ以テ其判決ヲ持ッテ行カナケレバ、戶籍ノ登記ガ出來ヌトシテ、本人モ承諾シ、親屬モ承諾スルモ、矢張登記シテ貫フコトハ出來ヌトシタハ、ドウ云フ是ニ力ヲ置イタノデゴザイマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 是ハ家督相續人ヲ廢スルト云フコトハ、家ト云フ方ノ觀念カラ、餘程大切ノ事柄デアリマシテ、從來ノ慣例モナカノ「經卒ニヤツテナイ、今日マデハ親屬協議本人ノ異議ガナケレバ、廢除ガ出來ルト云

フヤウナ御話モゴザイマスガ、實際ヤツテ居リマス所ハ、決シテ親屬間ノ協議ニ任セズ、矢張廢籍届ヲ出シテ、許可ヲ得テ、廢籍ヲスルト云フコトニナツテ居ル、今日ハソレガ行政官デヤツテ居リマスガ、今後ハ民法ノ規定デ、裁判所ニ委セルト云フ違ヒデ、其點ハ行政官ノ處分裁判處分トノ差違ヒガアルダケデ、殊ニ民法デ不用ノ手續ヲ定メタノデハアリマセヌ

○委員長(大田信一君) 本日ハ是デ閉會致シマス

午前十一時四十五分散會